



今回の海外派遣交流事業では、オーストラリアの学校生活やホームステイを通して、日本との文化の違いを実際に体験しました。
現地の生徒やバディとは、英語で話したり、プリクラやカラオケを楽しんだりするなかで、言葉が違って共通の趣味を通して仲を深められることを学びました。英語がうまく伝わらない経験からもっと英語を学びたいという思いも強くなりました。
今回の経験を生かし、将来は日本と世界をつなぐ架け橋となるような、国際的な仕事に関わってきたいです。

津幡南中学校3年 張 樂欣



オーストラリア派遣交流を通して両国の文化と生活習慣の違いや共通点を知ることができました。
最初は英語で話すことに緊張しましたが、ホストファミリーや学校の友達が話しかけてくれたことで自分から積極的に話しかけられるようになりました。また、英語は正しく話すことだけではなく、単語やジェスチャーを使って相手に伝えようとする気持ちが大切だと学びました。そして、一生忘れられない貴重な経験をすることができました。
この経験を英語の勉強や将来に生かし、挑戦していきたいです。

津幡南中学校3年 前川 美杏



令和8年度

津幡町 海外 交流

津幡南中学校2年 和泉 里唯



オーストラリアでは、英語を話さなければいけない環境になり、最初は英語をうまく聞き取ることが難しく、不安でいっぱいでした。
しかし、二日目くらいになると、少しずつ聞き取れるようになって、自分の成長を感じることができました。また、私が話そうとしていることを最後まで聞いてくれたので、英語をうまく話せなくても、伝えようと努力することで会話ができると分かりました。
この経験から、間違いを恐れず、積極的に話すことの大切さを学ぶことができました。

津幡南中学校2年 松木 和



オーストラリアでの研修は驚きの連続でした。現地の学校はとて自由で、休み時間に「こんにちは」と日本語で声をかけてくれたことが嬉しかったです。そして、授業やホストファミリーとの時間を通してお互いの文化を知りました。また、日本の遊びと一緒にすると海外にも似た遊びがあると知り、世界とのつながりを感じました。ホストファミリーとの会話で自分の英語力のなさを痛感しましたが、感謝と伝えようとする姿勢があれば伝えられると学びました。
現地で感じた悔しさをバネに、今後も英語の勉強を頑張りたいです。

津幡南中学校2年 山原 悠輝



海外派遣では日本とのさまざまな違いを知ることができ、毎日が新しい発見の連続でした。特に驚いたことは、僕たちが行った学校に、日本について学ぶクラスがあったことです。校内を歩いていると、多くの生徒が日本語で話しかけてくれ、日本について興味を持っていてくれることが嬉しかったです。最近では、さまざまな言葉を一瞬で翻訳できますが、外国の文化や考え方について深く学び、自分の言葉で交流を図ることが大切だと実感しました。
今後は、外国について知識を深め、将来につなげていきたいです。